



AllFusion® Process Modeler r7

AllFusion Process Modeler (以下AllFusion PM)は、複雑なビジネスプロセスの可視化、分析、品質向上を支援する強力なモデリングツールです。プロセスモデルの使用により、様々なビジネスプロセスの重要な側面（必要なアクティビティ、実行および管理方法、実行に必要なリソース、出力の形態）を明確に文書化できます。これにより、小さな部門のワークフローから複雑な企業全体のプロセスに至るまで、組織がどのようにタスクを実行するべきかを全体的に捉えることができます。

主要3機能

- 様々なモデリング手法のサポート
- コストおよびパフォーマンスメトリクス分析
- プロセス/データの統合

新機能

- XMLエクスポートフィルタリング
- スイムレーンダイアグラムオプションの拡張
- 新しい「Where Used」レポート
- 新しいPDFレポート形式

ビジネスを把握することによって ITとの的確な整合を実現

ITプロジェクトがビジネスと適切に整合できていないと、プロジェクト失敗の大きな要因となり、組織の規模に関わらずIT管理コストが増大する原因となります。競争が激化し、新しいビジネスモデルや法規制が登場して急激な変貌を続けるビジネス環境では、品質と顧客サービスのレベルを維持または高めると同時に、生産性向上とコスト削減を達成するという厳しい課題に企業は直面しています。ますます複雑になる業務を管理し、変化に対応すると同時に、新しいビジネス手法を模索しなければなりません。既存のプロセスの効率向上、時間のかかる手作業の自動化、ビジネスアクティビティ全般に渡るコンプライアンスの確保は、常に求められる要素です。

しかし、組織がプロセスの最適化や自動化を行うためには、まず現状を把握しなければなりません。これは、複雑で難しい作業です。プロセスの把握と最適化が

完了したら、次に変更点を正しく効率的に伝達する作業に進みますが、これも重要で難しい作業です。多くの企業が認めていることですが、ビジネスプロセスや要件を様々な視点から考え、詳細な設計図を作成しておけば、目標設定や変更内容の実践と伝達を効率的に行うことができ、その結果、大きな価値をビジネスにもたらすことができます。

ビジネスの重要項目の可視化と伝達

ビジネスアナリストは、ビジネスプロセスモデリングを活用することにより、企業の業務を様々な視点から見た情報を収集、体系化、分析し、その結果を経営陣、業務に関わるスタッフ、ITスタッフに伝達することができます。このような情報を活用することで、経営陣はプロセス最適化に関する意思決定を行い、ITスタッフはビジネスと正しく連携したソリューションを設計できます。

CAのAllFusion PMは、プロセス、デ

ータフロー、ワークフローのモデリングを1つのツールでサポートし、ビジネスとテクノロジー両方の分析に必要な機能を提供します。この3つのすべての視点から主要なモデリング情報を再利用し、矛盾、ギャップ、不連続な部分を特定して、最終的に一貫性を持たせます。また、企業のビジネスに関する知識を収集すると同時に、コラボレーションの推進、生産性や品質の向上、アプリケーション開発プロセスの指針を示すメカニズムを提供します。

特長

複数の表記法をサポート

複数のモデリング手法や様々な表記法をサポートしているので、必要とされるあらゆる視点から詳細で適切な分析や設計を実行でき、複雑な環境に対応します。

• 様々なモデリング手法のサポート

ビジネスプロセス (IDEF0)、ワークフロー (IDEF3)、データフロー (DFD) のモデリング手法を統合した方法で再利用し、調整します。

• スイムレーンダイアグラム

スイムレーンダイアグラムは、複雑なプロセスを効率的に可視化し最適化するメカニズムです。このダイアグラムは、機能カテゴリーではなくプロセス全体を体系化し、プロセス、役割、職責を同時に捉えることができます (図1)。

• 組織チャート

組織構造は、ビジネスプロセスの定義方法や実践方法に影響を与えます。AllFusion PMは、役割を明示的に定義する機能を提供します。役割により、ビジネスプロセス内にあるタスクやジョブを定義、分類します。

ユニークで強力な分析統合機能

AllFusion PMでは、詳細で幅広いデータを用意しており、分析および設計プロセスで使用できるので、分析結果から更に価値の高いモデルを作成できます。

• コストおよびパフォーマンスのメトリクス分析

AllFusion PMは、ABC (Activity Based Costing: アクティビティベースのコスト算定) を完全にサポートし、プロセス分析向け

に最適化されています。包括的なレポート機能や専用ABCツールとの双方向インタフェースにより、アクティビティベースの管理戦略の実装を支援します。

• シミュレーションインタフェース

シミュレーションにより、変更が与える影響を動的に把握できます。導入する前に様々なシナリオをテストできるので、どのソリューションが最適なのかを確認できます。AllFusion PMは、強力なシミュレーション環境であるArenaにワークフローモデルをエクスポートし、リアルタイム分析を実行します。

• プロセス/データの統合

AllFusion PMとAllFusion ERwin Data Modeler (以下AllFusion ERwin DM) の統合は、企業全体の情報アーキテクチャ分析が直面する問題点を解決します。AllFusion PMに組み込まれているデータ活用機能やメタデータサポートにより、データがどのプロセスで使用されているかを詳細に示す「Where Used」マッピングを提供します (図2参照)。

カスタマイズ可能な

モデリングインタフェースと拡張機能

AllFusion PMでは、ツールの動作、モデルオブジェクトの表示、メタデータの拡張を指定できるので、ビジネスニーズを的確に反映させることができます。

• カスタマイズ可能なユーザインタフェース

ドッキング可能なツールバー、マルチビューを持つモデルエクスプローラ、ツールの動作を詳細に定義する機能は、設計現場の生産性を高めます。

• カスタマイズ可能なダイアグラムオブジェクト/ディスプレイ

ダイアグラムのモデルオブジェクトでの形状やグラフィックの選択、表示情報データの粒度の指定が可能です。

• ユーザ定義のプロパティ

ビジネス関連情報の取得機能をカスタマイズすることができます。このビジネス情報は、AllFusion PMレポート機能ですぐに処理し、Microsoft WordやMicrosoft Excelなどほかのプログラムにエクスポートできます。

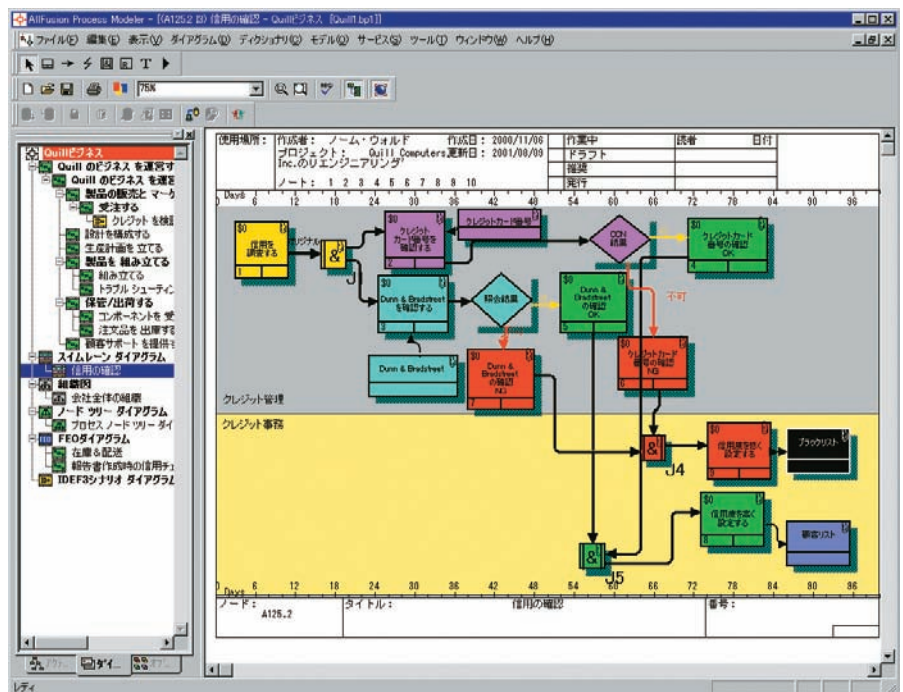


図1: AllFusion Process Modelerのスイムレーンダイアグラムでは、プロセス、役割、職務を同時に参照できます。

コラボレーションが可能なモデリング環境

モデリングは、チームで行う場合がほとんどです。モデリングチームの成功と生産性を決める鍵となるのは、モデリングで作成されたモデルをシームレスに共有する機能と、モデリングプロセスの効率的な管理機能です。

・分割/結合機能

AllFusion PMでは、複雑なプロセスモデルを管理しやすいワークパッケージに分割してから、これを結合して一貫したモデルに戻し、設計の一貫性を達成することができます。この環境では、チームメンバーが同時に作業できるので、プロジェクトの分析や設計サイクルが短縮されます。

・AllFusion Model Managerとの統合

AllFusion Model Managerは、マルチユーザのモデルリポジトリであり、AllFusion PMやAllFusion ERwin DM向けの中央モデルストレージ、アクセス制御、バージョン管理、レポートサービスを実現します。

ビジネスアナリスト向けの専門ツール

AllFusion PMは、ビジネスモデル設計者のサポートと生産性向上を目的に、必要な全ての機能を1つのツールで提供します。

・設計プロセスの自動化

AllFusion PMは、プロセスモデル構築に必要な多くの作業を自動化し、正確で整合性のある結果を高いレベルで保証します。モデルの構築作業では、オブジェクトがハイライト表示されるので、発生しやすい誤りを防ぐことができます。

・カスタマイズ可能な

スプレッドシートインタフェース

ディクショナリフレームワークでは、モデル情報を高速かつ容易に入力、管理できます。この使いやすいインタフェースにより、モデル作成のための優れたメカニズムを提供します。

・容易なレポート作成機能

レポートテンプレートビルダは、AllFusion PMとAllFusion ERwin DMに共通のレポートエンジンであり、包括的なレポートやWebサイト作成をサポートします。また、あらゆるモデルに適用可能なレポ

ートテンプレートを作成することも可能です。「一度定義しておけばどこでも再利用可能」というアプローチにより、レポート作成の標準を作ることができます。

r7の新機能

使いやすさの向上

ビジネスプロセスを把握、表現、分析する作業は、時間のかかるプロセスです。組織は、反復的なアプローチをとることが多く、それぞれの問題点や要件に合わせてプロセスモデルの詳細を時間をかけて構築します。堅牢性に優れたプロセスモデルを効率的かつ反復的に構築する機能は、効率化、開発期間の短縮、モデル構築にかかる全体的なコストの削減を実現する上で、重要な役割を果たします。AllFusion PM r7では、モデル設計者の日々の作業を効率化することを目的に、操作性を向上する機能が追加されています。

・AllFusion ERwin DMとの統合強化

AllFusion ERwin DMとのモデル同期機能が強化されています。その中の「Remove ERwin Links」オプションでは、AllFusion ERwin DMモデルに属していたエントリや属性を別のモデルにエクスポートできます。

・XMLエクスポートフィルタリング

XMLファイル(XML Export)としてモデルを保存すると、エクスポート用に選択したオブジェクトやプロパティをフィルタ処理し、子モデルが存在する場合も存在しない場合も、選択した項目をプロセスモデル内のダイアグラムに限定することができます。

・スイムレーンダイアグラムオプションの拡張

スイムレーンダイアグラムの拡張では、既存のスイムレーンの順序を再設定できるようになったので、生産性や柔軟性が向上しました。

・新しい「Where Used」レポート

「Where Used」レポートは、アクティビティ、矢印、データストア、外部参照、ジャンクション、参照を使った文書です。モデル設計者は、モデル全体でレポートを実行

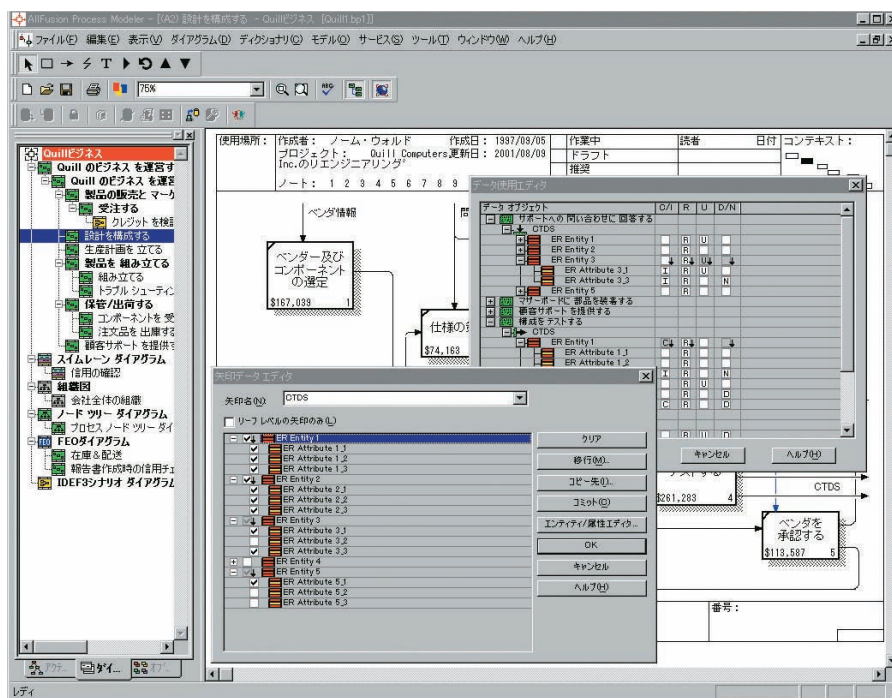


図2: AllFusion Process Modelerは、データとプロセスの詳細なマッピングにより、企業全体での情報アーキテクチャの開発や保守を実現します。

することも、ダイアグラム内の1つの項目について実行することも可能です。

・新しいPDFレポート形式

PDFレポート形式にRTB (Report Template Builder)を使用することで、レポートの表示や印刷でのスケーラビリティを向上でき、グラフィックの品質が低下することはありません。

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。
製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

© 2006 CA and / or one of its subsidiaries. All Rights Reserved.



Quality
Endorsed
Company

ISO 9001
Lic. 2443

お問い合わせ



日本CA株式会社

〒163-0439 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
お問い合わせ窓口：CAジャパン・ダイレクト 0120-702-600
JapanDirect@ca.com
WEBサイト：www.caj.co.jp

※記載事項は変更になる場合がございます。



〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-9-9(東京建物渋谷ビル)
電話:(03) 5778-0262 FAX:(03) 5778-0265
E-mail: prodpost@jsys.co.jp
URL: http://www.jsys-products.com/